

大手衛星オペレーターのSESと衛星通信サービス分野における パートナーシップ構築に向けて基本合意

シャープは、宇宙ソリューションを提供する大手衛星オペレーターのSES（※1）と、衛星通信サービス分野におけるパートナーシップ構築に向けて基本合意しました。同社が提供する中軌道（MEO）衛星通信サービス「O3b mPOWER（オー・スリー・ビー エムパワー）」（※2）の日本国内への展開を目指し、両社で協議を開始します。

SESは、複数の衛星軌道を活用した通信サービスをグローバルに展開しています。同社の衛星ネットワークは、メディア配信をはじめ、航空・海事・政府機関・企業向けの高性能な通信サービスなど、幅広い分野で活用されています。衛星通信サービス「O3b mPOWER」は、大容量・低遅延かつセキュアで安定した性能を実現。通信需要の高いエリアに、必要な通信容量を重点的に割り当てられることが特長です。当社は、スマートフォンの開発で培ってきた通信技術や小型・軽量化のノウハウを活かし、フラットパネルアンテナ搭載の衛星通信ユーザー端末（※3）の開発を進めています。

当社は、本パートナーシップのもと、SESの衛星ネットワークと当社の通信技術および衛星通信ユーザー端末を組み合わせ、日本国内における衛星通信サービスの提供に向けた検討を進めていきます。機器の販売にとどまらず、システム構築や運用までを含めたサービスの提供を目指します。海上や山間部など、セルラー通信を含む地上ネットワークでは安定した通信の確保が難しいエリアでの産業利用を見据え、遠隔地の設備や重機の通信接続、無人車両の運行管理などへの活用を目指します。

President, Fixed Vertical, SES S.A.

Jean-Philippe Gillet 氏のコメント

日本は、地上ネットワークにとどまらない、高性能な通信への需要が高まっている重要なイノベーション市場です。シャープとの協業を通じて、MEOの能力と先進的な端末技術を組み合わせ、モビリティおよび産業分野の主要な用途において、拡張性の高い通信の実現を目指します。両社は、これらのユースケースを支えるサービスおよび技術の開発に取り組み、日本におけるMEO市場の持続的な拡大に貢献してまいります。（当社記）

シャープ株式会社 執行役員 Co-COO 兼 スマートワークプレイスビジネスグループ長

小林 繁のコメント

SESとの基本合意は、次世代の通信環境の構築に向けた取り組みを加速する重要な一歩です。当社は、「人々の『暮らす』『働く』のあらゆるシーンにAIを掛け合わせ、人の未来を拓く」ことを目指しています。その実現には、場所を問わず利用可能な安定した通信環境が不可欠です。SESの高性能で信頼性の高い衛星通信基盤と当社の最先端の衛星通信ユーザー端末をはじめとした通信技術・ノウハウを融合し、次世代の通信環境の構築に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

- ※1 人工衛星を保有・運用し、通信サービスをグローバルに展開する事業者。本社：ルクセンブルク ベツドルフ、CEO：Adel Al-Saleh
- ※2 SESのMEO衛星は、高度約8,000kmを周回。高度約36,000kmの静止軌道（GEO）に比べて低遅延であり、高度2,000km以下の低軌道（LEO）に比べ広域を安定的にカバーできます。遠隔地や厳しい環境下でも途切れにくい通信を実現しています。
- ※3 一般的なパラボラ型とは異なり、平面形状で薄型・軽量のフラットパネルアンテナとモデム機能などを統合した端末です。設置性や可搬性に優れます。

- 端末の開発は、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）からの助成を受けています（JPJ012368G50501）。

<シャープについて>

シャープは、110年以上にわたり、エレクトロニクスを中心に、多くの世界初・業界初の革新的な製品や技術を開発してきました。経営信条「二意専心 誠意と創意」に基づき、コーポレートスローガン「ひとの願いの、半歩先。」を定め、人々の「暮らす」と「働く」のあらゆるシーンに寄り添う独創的なモノやサービスを通じ、「新しい文化」を創造する企業を目指しています。

【 ウェブサイト 】 <https://corporate.jp.sharp/>

【 本 社 】 〒541-8522 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目1番25号